

—個人消息—

—牧師室から—

朝の入門講座で、聖書を「神の言葉」ということの意味について話した。教会は、聖書を信仰と生活の規範としての神の言葉と信じてきた。それに間違いない。しかし、一字一句が、誤りのない絶対的に従うべき神の言葉なのではない。聖書は、具体的な人間が具体的な状況の中で書いた歴史的文書である。当然、時代的制約を受けている。受け入れられない人権蹂躪とその時代の価値観が反映されている。それらを飛び越えて、現代にも普遍妥当性を持つ神の言葉として権威主義的に受け取ると、人間が殺される。聖書は、現代人の理性にさらし、批判的に読んでよいし、又読まなければならない。聖書記者たちは、彼らの歴史的状况の中で、神を求め、人間になることを血を吐くような思いで記した。それを知る時、今の私を支え生かしてくれる神の言葉となる。どんな批判も越え、歴史を越え、語りかけてくる真実の言葉を聞くことが大切である。

—今週の誕生者—

—集会状況—

週報

1989年6月18日 聖霊降臨節第6主日

巻 10 12号

1989年度教会主題

「神の言葉に従う」

聖句 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。」……アブラムは主が言われたようにいで立った。

創世記12章1節、4節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂の建築計画を完成する。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 永火 吉隆 左雄